

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（英語グローバル学）の学位を授与します。</p>			<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>本学科では、「基礎教育科目」を通じた英語基礎力の向上と、系制度やゼミを中心とした「専門教育科目」を通じた専門性の獲得を、教育課程における2つの柱として編成します。また、アメリカ分校への全員留学「レギュラー・プログラム」（4ヵ月）および希望者向けの延長留学「エクステンション・プログラム」（4ヵ月）を設け、「基礎教育科目」と「専門教育科目」の効果的な接続を図ります。</p> <p>1つめの柱「基礎教育科目」では、基礎的な英語力の向上とコンピュータリテラシーの獲得にむけた科目群を配置します。特に、1年次・2年次では英語の「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能の強化を図り、3年次・4年次では4技能の統合的運用力を高めます。また、1年次・2年次には、確かなコンピュータリテラシーの獲得にむけ、時代が求める情報処理能力の向上を図る科目を開講します。</p> <p>2つめの柱「専門教育科目」では、「4つの系」（第1系「文化・文学」、第2系「言語・語学」、第3系「ビジネス・コミュニケーション」、第4系「国際教養」（※英語特別クラス対象））を展開し、学生の幅広い学術的関心に応えるための専門的な科目群を開講します。また、3年次・4年次には「卒業研究」（ゼミ）を開講し、卒業論文の執筆指導を通じてさらに高度な専門性の追求を支援します。</p> <p>本学科の特徴である「アメリカ分校留学プログラム」は2年次に配置し、英語力の向上・定着を目指す基礎教育科目群と、主にアメリカの社会や文化・文学を学ぶ専門教育科目群の両群によって編成します。アメリカ分校留学は2年次前期の4ヶ月間（希望者はさらに後期の4ヵ月間）に実施し、現地では、第2言語としての英語（ESL）教育を専門とする外国人教員が授業を担当します。また、留学期間中にはホームステイや研修旅行などを通して、アメリカの文化や社会について学ぶ機会を提供し、英語グローバル学に対する深い理解を促します。</p> <p>以上の方針により、1年次には主に基礎英語力とIT処理能力を高め、2年次にアメリカ分校留学による基礎教育と専門教育の連携を図り、3年次・4年次には、4つの専門分野に分かれた「系制度の配置」と、「卒業研究（ゼミ）の開講」によって、英語グローバル学に関する高度な教育を実現します。</p>	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>国際社会で通用する知識や英語力を身につけ、社会で活躍しようとする者を受け入れます。</p> <p>①入学までに、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学や理科といった教科を含む幅広い基礎知識を備えている人</p> <p>②入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディーズに関する基礎的および専門的な知識を修得する意欲を持った人</p> <p>③本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人</p> <p>④入学後にアメリカ分校（MUSC）へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人</p> <p>⑤国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍する意欲を持った人</p> <p>⑥中学校・高等学校の英語科教諭、学校図書館司書教諭、図書館司書の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与する意欲を持った人</p>
1. 知識・理解	1-1	欧米の文化や文学に関して幅広く正確な知識を持っている。		
	1-2	英語の歴史や構造に関して幅広く正確な知識を持っている。		
	1-3	国際社会・経済に関して幅広く正確な知識を持っている。		
	1-4	国際人として必要なコンピュータリテラシーを持っている。		
2. 技能・表現	2-1	教養レベルの英語を理解し、発信することができる。		
	2-2	専門分野の英語を理解し、発信することができる。		
	2-3	ドイツ語・フランス語を理解し、発信することができる。		
	2-4	ICTを利用して情報を収集し、発信することができる。		
3. 思考・判断	3-1	自分の考えを論理的に組み立てる力を持っている。		
	3-2	グローバルな視点から判断し、主体的に対応する力を持っている。		
	3-3	専門知識に基づいた、クリティカルな思考力を持っている。		
4. 態度・志向性	4-1	責任感を持ち、自律的に行動することができる。		
	4-2	異文化の人たちと積極的に交流し、国際社会に貢献できる。		
	4-3	知的好奇心を持ち、自らの専門を探求することができる。		